

般質問



たかせ つとむ
高瀬 勉議員
が町に問う！

まちづくり

さらなる環境政策の推進を
政策の推進を

答弁 適切な予算や人員配置を行います

Q ゼロカーボンシティ・カーボンニュートラルの実現に向けて、さらなる環境政策の推進を望むが。

A 政策推進課長ほか 町の第2次環境基本計画や地球温暖化対策実行計画（区域・施策編）の取組を推進し、温室効果ガス削減目標①の達成を目指します。また、森林循環を目指した木材の需要増大と、森林等の吸収源対策としての木質バイオマスの利活用や、里山再生事業等を実施し、荒廃した森林の経営管理を実施していくます。それら事業の進捗などに併せて、適切な予算や人員配置を行つています。

Q 町長が掲げた町の「復活」について、具体的な取組・施策展開は、また、復活が示す町の姿やゴール地點とは。

A 豊かな環境資源を生かして「復活」を活気に溢れた町となる」とが、「復活」のゴールと捉えています。



豊かな環境資源を生かして「復活」を



たかはしい さお
高橋功人議員
が町に問う！

ウイズコロナ

地域や学校行事の在り方は
事の在り方は

答弁 新たな取組や展開を検討しています

Q 地区民体育祭の在り方は。

A 町長 今日までの地方創生関連事業などにより、移住者の増加や、町の活性化に資する成果が見え始めています。今後も、産業・観光の振興や、教育・子育てへの支援をはじめ、各施策に真摯に取り組むことで、「未来の子どもたちが暮らしやすい町・将来にわたり活気に溢れた町」となる」とが、「復活」のゴールと捉えています。

Q 生涯学習課長 開閉会式の簡略化や昼食なしの半日開催、種目の見直しなどを議論し、新しい生涯様式に対応した持続可能な大会の開催を考えています。②

A 生涯学習課長 第30回大会を開催する方向で準備を進めています。ウイズコロナに対応した新たな小川和紙マラソン大会の在り方は。Q 和紙マラソン大会の在り方は。

Q 町民は、コロナ禍にあつても、町のスポーツ全体を牽引していくような大会となるよう期待しているが。

A 生涯学習課長 感染防止対策を講じる中でも、町のよさを知つてもうかる大会を目指し、関係者



今年こそ、多くのランナーを

Q 感染者数の拡大により、小川地区は半日開催、大河・竹沢・八和田地区は中止を決定

Q 令和8年度に平成25年度比で24%以上の削減



遊休農地

農業振興地域内での面積は128ヘクタールです

答弁 荒廃農地は約128ヘクタールです

Q 第5次総合振興計画には「優良農地や積極的な営農が行われている農地は、その保全を図る」とある。町内全農地に対する農業振興地域内の農地面積はどの程度か。

A 環境農林課長 農業振興地域の面積は約3700ヘクタールで、そのうち農地面積は約810ヘクタールです。町内の全農地面積は約860ヘクタールなので、町内農地に占める農業振興地域内の農地面積は、約94%となります。農業振興地域内の遊休農地の割合は。



かつては営農が盛んだった農地

Q 流通系等の新たな土地利用の誘導を図る」ともあるが、その新たな土地とは。

A にぎわい創出課長 土地利用構想図では、大字角山・朝負・木呂子・高谷及び西古里などの地域を工業・流通ゾーンとしています。新たな事業所等の利用により、雇用創出や町の活性化につながるよう企業誘致等を図っています。

Q さきに執行された町長選挙並びに町議会議員補欠選挙について、有権者の投票行動における特徴や傾向などは。

A 総務課長 若年層は人数が減り、投票率も低くなっています。一方で、高齢層は人数が増え、投票率も高い状況です。

Q 世代間における1票の格差は存在すると捉えているか。

A 総務課長 標準的な地区を例に投票率を見ると、全年齢層による投票率55・6%に対し、若年層は27・5%、高齢層は70・2%で、世代間に大きな差が見られます。「世代間における1票の格差」が存在するのではないかといった議論に結びついているものと捉えています。



期日前投票所（共通投票所）リリック

Q 環境農林課長 荒廃農地は約128ヘクタールで、農業振興地域内の農地面積810ヘクタールの約15・8%となります。

Q 総合振興計画には「町の活力を高め、雇用創出につながる工業・

Q 小川町議会だよりは見出しへ「ダワル！」 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しあります。

Q 投票率向上

Q 世代間での1票の格差は
票の格差は

答弁 格差の傾向が見られる状況です



投票率向上

世代間での1票の格差は

答弁 格差の傾向が見られます。

Q スーパーマーケット等を共通投票所として活用できないか。

Q 総務課長 国の動向等を注視していきたいと考えます。



期日前投票所（共通投票所）リリック

普段とは雰囲気がガラッと変わり、あんな賑やかな小川町が見られて嬉しかったです。（N・Nさん 34歳）

コロナ禍以前の活気が戻ったようで懐かしくもあり、飲食ブースを分けるといった新しい時代を感じるお祭りでした。（K・Rさん 20代）

つづく！